

## 世界エイズ・結核・マラリア対策基金について

平成20年11月26日

外務省国際協力局

専門機関課 小林敏明

### 1. 世界基金の概要

- (1) 2000年のG8九州・沖縄サミットで感染症対策を主要議題として取り上げたことが契機となり、2002年1月にジュネーブで設立された民間財団。新しい官民パートナーシップ、オーナーシップの尊重、実績に基づく支援等を原則としている。
- (2) 自らは事業を実施せず、途上国におけるHIV／エイズ、結核、マラリアの三大感染症対策に資金を供与する。三大感染症対策にかかる国際支援総額のうち、世界基金の支援額はHIV／エイズで21%、結核で67%、マラリアで64%を占めている。
- (3) 三大感染症による死者は毎年500万人。世界基金等の支援事業により2007年末までに約250万人の命が救われている。
- (4) 日本は世界基金理事会で単独議席国（他は米、伊のみ）。これまで8.5億ドルを拠出し（米、仏、伊に次ぐ第4位）、来年以降当面5.6億ドルを追加拠出することを表明済み。

### 2. 世界基金の支援資金の活用

- (1) 世界基金は国際機関としても最大級の資金供与機関。2007年の事業費は26億ドル。
- (2) 事業の形成・申請と実施において、日本のNGOも活躍の場がある。基本的にはHIV／エイズ、結核、マラリアの各対策とそれらに関連した保健システム強化が支援対象。

### 3. 世界基金事務局職員への採用の道

- (1) 事務局職員の定員は急増中：2007年340人、2008年470人、2009年は現在検討中（570人よりは少なくなる見込み）。
- (2) 求人情報は、世界基金のウェブサイト上で日々更新されている。

### 4. 関連ウェブサイト

- (1) 世界基金
  - トップページ <http://www.theglobalfund.org/>
  - 職員求人情報 <http://www.theglobalfund.org/cn/jobs/>
- (2) 日本語
  - 外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofai/gaiko/kansen/index.html>
  - 世界基金支援日本委員会 <http://www.jcie.or.jp/fgfj/top.html>

(了)

# 世界基金の仕組み

